





審査結果報告書

2024 年 1 月 31 日

主 査	氏 名	福田 倫也	
副 査	氏 名	高橋 香世子	
副 査	氏 名	上 出 直人	
副 査	氏 名	深瀬 裕子	

1. 申請者氏名 : DM20015 前場 洋佑

2. 論文テーマ :
COVID-19 流行下における地域在住高齢者の精神的苦痛に影響を与える要因

3. 論文審査結果 :

地域在住高齢者が健康的な生活を送るには、余暇活動などを通して生きがいを持つことが重要である。しかし、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）流行下において感染拡大を防ぐために多くの余暇活動が制限され、新たな生活様式の構築を余儀なくされている。先行研究では、COVID-19 流行下での余暇活動の制限状況、余暇活動への従事が精神的健康に与える影響などが報告され、高齢者の生活に大きく影響を及ぼしている。

本学位論文は 2021 年 10 月（新規陽性者が第 1 波～第 4 波と比較して急増した第 5 波に相当する）、地域在住高齢者に郵送質問紙調査を行い、COVID-19 への恐怖、生活習慣、余暇活動、精神的苦痛の関連について構造方程式モデリングを用いて包括的に検討した。その結果、COVID-19 への恐怖が精神的苦痛に直接的に影響するだけでなく、生活習慣の乱れや余暇活動の制限を介して間接的にも精神的苦痛に影響することが明らかになった。作業療法士がヘルスプロモーションにおいて、生活習慣や余暇活動への支援を行うことで地域在住高齢者の精神的健康を改善させる可能性が示唆されたと考察していることは極めて意義深い。

以上より、博士（医学）の学位取得に相応しいと判断した。